

令和6年12月 回答分

手紙の概要	回 答
<p>情報化によって起こる可能性のある、インターネット依存症などをはじめとする精神疾患について、共働き世代の増加により今後加速するのではないかと考えている。</p> <p>近年の情報機器の使用の若年化により、ネット依存やうつ病などの従来の精神疾患のリスクが高まると考える。その若年化の大きな要因として、共働き世帯の増加による育児負担があげられる。</p> <p>ワーク・ライフ・バランスを求められる時代であり、職場の改善や児童保育の支援等の早急な対策が必要である。</p>	<p>職場の改善につきまして、働く人がそれぞれの個性や能力を十分に發揮し、「仕事」と「生活」の調和がとれ、両立できる状態を意味するワーク・ライフ・バランスの実現は、企業にとって最重要課題の一つです。</p> <p>平成19年（2007年）に内閣府が公表した「仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）憲章」では、現実の社会では「安定した仕事に就けず、経済的に自立することができない」「仕事に追われ、心身の疲労から健康を害し兼ねない」「仕事と子育てや老親の介護との両立に悩む」など、仕事と生活の間で問題を抱える人が多く見られると指摘しています。</p> <p>このような状況を踏まえ、市としては、ワーク・ライフ・バランスを人権問題として捉え、「企業が積極的に同和問題をはじめとするあらゆる人権問題に取り組むことは民主的な職場づくりの出発点であり、企業自身が成長していく要因である」との認識に基づき、草津市企業同和教育推進協議会を組織し、各種研修会の開催や企業訪問などの機会を通じてワーク・ライフ・バランスの実現にむけた周知・啓発活動を行っています。今後につきましても、ワーク・ライフ・バランスの実現に向けた職場環境づくりに努めます。</p> <p>また、児童保育の支援につきましては、近年、家庭においてもスマホやタブレットが生活に欠かせないものとなってきており、親子ともにメディアに接触する機会が増えていくため、親子の触れ合う時間が少なくなっているのではないかと心配しています。子どもが健やかに育つためには、親を中心とした身近な人との関わりや、目を合わせて語り掛けたり、散歩や外遊びで一緒に過ごしたりする体験などがとても重要です。</p> <p>本市では、生後6か月頃から1歳未満のお子さんがおられる御家庭を訪問し、保育士による絵本の読み聞かせを行ったり、10か月児健診で親子のふれあい遊びを紹介したりするなど、遊びを通じて親子がふれあうことの大切さを伝えるとともに、メディアが子どもに与える影響について周知啓発を行っており、場面や時間などの利用制限についてお伝えしています。また、メディアに頼らざるを得ない状況など、不安や負担の大きい御家庭には、保健師などが訪問や相談を行い、お気持ちに寄り添いながら支援を行っています。</p>

令和6年12月 回答分

手紙の概要	回 答
	<p>今後も引き続き、メディアが子どもに与える影響について、子育て家庭に広く周知啓発しながら、各御家庭の状況に応じた丁寧な相談、支援を行っていきます。</p> <p style="text-align: right;">【環境経済部 商工観光労政課】 【子ども未来部 子育て相談センター】</p>
<p>焼却ごみ類の分別について。</p> <p>10月から、植物（野菜や花）の茎や葉のごみが収集されなくなった。収集担当者や町によって対応が異なる。</p> <p>1. なぜ、このタイミングで広報に記載する必要があったのか。</p> <p>2. ずっと収集されていたのに急にされなくなったのはなぜか。</p> <p>3. 収集日（担当者）によって、バラツキがあるのはなぜか。</p> <p>4. ①「剪定した枝木」と②「トマトや枝豆などの植物の茎」との違いは。</p>	<p>お手紙に【疑問】として記載いただいた内容について、以下のとおり回答します。</p> <p>【1. なぜ、このタイミングで広報に記載する必要があったのか】 【2. ずっと収集されていたのに急にされなくなったのはなぜか】</p> <p>令和5年10月に焼却ごみ類指定袋制度の見直しを行って以降、指定袋に入れて出す決まりになっている木製品（よしずや棚等）や、剪定枝以外の植物（刈草や野菜の茎等）が紐でくくって出される事例が増加し、葉の散乱等により収集効率が低下し、非常に手間がかかるとの報告が、令和6年7月に収集業者からありました。</p> <p>そのため、直近の広報9月号に記事を掲載するとともに、市が定めるルールどおりの収集を徹底するよう収集業者と申し合せを行ったところです。</p> <p>【3. 収集日（担当者）によって、バラツキがあるのはなぜか】</p> <p>新聞紙でくるまれて中身が確認できないもの等、現場で収集の可否の判断に迷うごみが排出される事例があることから、「バラツキ」が生じたものと考えています。この点につきましては、収集業者への指導を徹底することと併せて、排出いただく方々に対して、根気強くルールを御案内することや、堆肥化の検討をお願いすること等で、改善につなげていきたいと考えているところです。</p> <p>なお、未収集のものへのラベルの貼り付けが、収集員の負担になっているのではとの御指摘につきましては、確かにラベルを貼る行為は収集員の追加作業となります。一方で、指定袋で出されるごみの方が紐でくくって出されるごみよりも、パッカー車への投入効率の点で優れていますので、併せて御理解をお願いします。</p>

令和6年12月 回答分

手紙の概要	回 答
	<p>【4. ①「剪定した枝木」と②「トマトや枝豆などの植物の茎」との違いは】</p> <p>野菜や花き類などの中には、主茎が硬質のものもありますが、側枝は剪定枝と比べ容易に切斷できる等、取扱いの困難さの面で剪定枝と異なります。</p> <p>「①と②を分けなければ、何が問題で誰かが困るのか」につきましては、指定袋に入れて出している人とそうでない人の間で、経済的負担の公平性に差が生じることや、指定袋に入っていないものは、持ち運びやパッカー車への投入効率の低下につながることから、剪定した枝木に限った対応をお願いしています。県内他市では、収集効率の向上のため、野菜や花き類、剪定枝にかかわらず、すべて袋に入れることがルールとなっています。</p> <p>野菜や花き類は、剪定枝と比較して堆肥化しやすいことから、ごみの減量につながる取組としまして、堆肥化の検討につきましても併せてお願いします。</p> <p>市民の皆様にごみの分別やルールを守っていただくことにより、収集や処理に要する時間や費用の低減につながりますことから、御理解、御協力をお願いします。</p> <p style="text-align: right;">【環境経済部 資源循環推進課】</p>
<p>小学校では、卒業式で着物や袴姿で臨席する児童が増えているが、諸事情で着られない児童もいると思う。いじめや登校拒否に繋がる危険があるのではないか。</p>	<p>草津市立小学校の中で標準服を使用していない学校につきましては、基本的に卒業式の服装は、御家庭の判断にお任せしています。しかしながら、平常とは違う服装や履物を使用することにより、転倒などの子ども達の安全上の懸念や、過度な費用負担が掛かることへの心配もありますことから、各校で卒業式の案内等の機会に服装について配慮していただくようお伝えしています。</p> <p style="text-align: right;">【教育委員会事務局 学校教育課】</p>

令和6年12月 回答分

手紙の概要	回 答
エイスクエア付近の歩道に2か所ほど穴が開いている。歩道の修繕、見回りを早急にしてほしい。	<p>御指摘いただきましたエイスクエア付近の歩道舗装の穴につきまして、現場を確認したところ、部分的に舗装が損傷していましたので、補修を実施しました。今後も市内のパトロールを行い、問題箇所の早期発見・早期対応に努めます。</p> <p>【建設部 道路課】</p>
ある課とトラブルが起きている。 課と市民の間に立って、言い分を整理してくれる第三者の課を設けてほしい。	<p>今回の窓口等の対応におきまして、大変不快な思いをされ、御迷惑をお掛けしましたことにつきまして、深くお詫び申し上げます。</p> <p>いただきました御意見につきまして、行政にかかる手続きは多岐にわたり、個別複雑なものとなっておりますことから、業務を所管しております各担当窓口において、責任を持って対応するようにしています。</p> <p>そのため、第三者からなる課の設置は予定していませんので、御理解をお願いします。</p> <p>【総合政策部 職員課】</p>